GIweekly 今週のマーケットポイント

DZH Financial Research
会員専用版 2020/11/30

今週のドル円相場見通し

ドル円は伸び悩む展開か。1ドル＝101.00-106.00円を想定している。世界的な新型コロナウイルス感染拡大第3波を受けたリスク回避の円買いで上値が重い展開が予想される。トランプ政権が一般調達局にバイデン氏への政権移行開始を許可したことはリスク選好要因だが、トランプ陣営がペンシルベニア州の大統領選結果を巡り連邦高裁に上訴したこと、新型コロナ景気対策法案の協議が難航していることは、リスク回避要因となっている。バイデン次期米大統領は、次期財務長官にイエレン元FRB議長を任命すると報じられている。持論の「高圧経済」、すなわち、多少の期間、インフレ率が目標値の2%を上回っても利上げせず、財政刺激策などで経済の過熱状態を保つ政策をとるならドルの上値を抑えよう。パウエル米FRB議長も、雇用を重視する「平均物価目標」により、2023年末までのゼロ金利政策の継続を示唆しており、米国の財政・金融政策がドルの上値を抑える可能性が高まりつつある。新型コロナウイルスに関しては、ワクチン開発が進展していることは、来年以降のリスク選好要因となっているものの、第3波の感染拡大が続いていることは、ロックダウンや緊急[illegible]宣言による景気減速というリスク回避要因、すなわち、円買い要因となる。

今週のFXI24コメンテーターの一言

コメンテーター	通貨ペア	予測	一言
荻野金男	ドル円	→	今週の焦点は4日に発表される11月米[illegible]用統計の非農業[illegible]用雇用者数や失業率と平均時給となる[illegible]ルFR[illegible]議長が1日、2日に[illegible]れぞれ銀行委委員会と下[illegible]サービス[illegible]委員[illegible]に於いてコロナ[illegible]援・救済・経済安全保[illegible]ARES ACT)[illegible]言が[illegible]定されているの[illegible]追加経済対策関連[illegible]及に[illegible]したい。[illegible]週から[illegible]型コロナ[illegible]チンへの開発・治験の効[illegible]効性[illegible]るように発表[illegible]、今週も米株の利益確定売り優[illegible]続くか。[illegible]欧州では英・EU貿[illegible]交渉が合意されず、ポンド売りが優勢[illegible]なっている[illegible]月ISM製造業や非製造業指数に要注意。また[illegible]末に地政[illegible]的[illegible]クとし[illegible]ランとイスラエルの関係悪化のなか30-12月1[illegible]OPEC[illegible]開か[illegible]ので[illegible]したい。 テクニカル的にドル円の下値の目途は[illegible]日の[illegible]4.00円[illegible]割り込み23日安値103.69円や5日安値103.44円、さら[illegible]抜け[illegible]の103.[illegible]円とし、上値は節目の105円を抜けると一目均衡表[illegible]雲の上[illegible]52円を意識し、株価と米長期金利をにらむ展開となろう。
[illegible]	ドル[illegible]	→	今[illegible]ドル円は底堅い動きを予想している。米国勢が感謝祭休暇から戻ってくることから、ファンド勢の来年に向けた戦略が次第に明確になってくる。株価を中心に過剰流動性相場は続きそうな状況。コロナワクチンの承認などが現実的になれば、クロス円中心に底堅い展開となる可能性が高いだろう。下値は18日の安値103.65円が目先の目処として意識されている一方、上値は24日の高値104.76円がレジスタンスレベルとなっている。週末にかけては11月米雇用統計などの米主要指標が集中しており、注意したいところだ。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
1日	12:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.10%		0.10%
1日	19:00	火	EUR	HICP速報値	前年比	11月	-0.3%		-0.2%
1日	24:00	火	USD	パウエルFRB議長、議会証言	*	*	*	*	*
1日	24:00	火	USD	ISM製造業景況指数	*	11月	59.3		57.8
2日	22:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	11月	36.5万人		43.0万人
3日	24:00	木	USD	ISM非製造業指数	*	11月	56.6		56.0
4日	22:30	金	USD	非農業部門雇用者数	前月比	11月	63.8万人		50.0万人

一言コメント･･･月初とあって米国を中心に重要指標が目白押しとなっています。ただ、指標の結果によってトレンドが出ることは最近はあまりないため、一過性の動きを想定しておいたほうが賢明か。

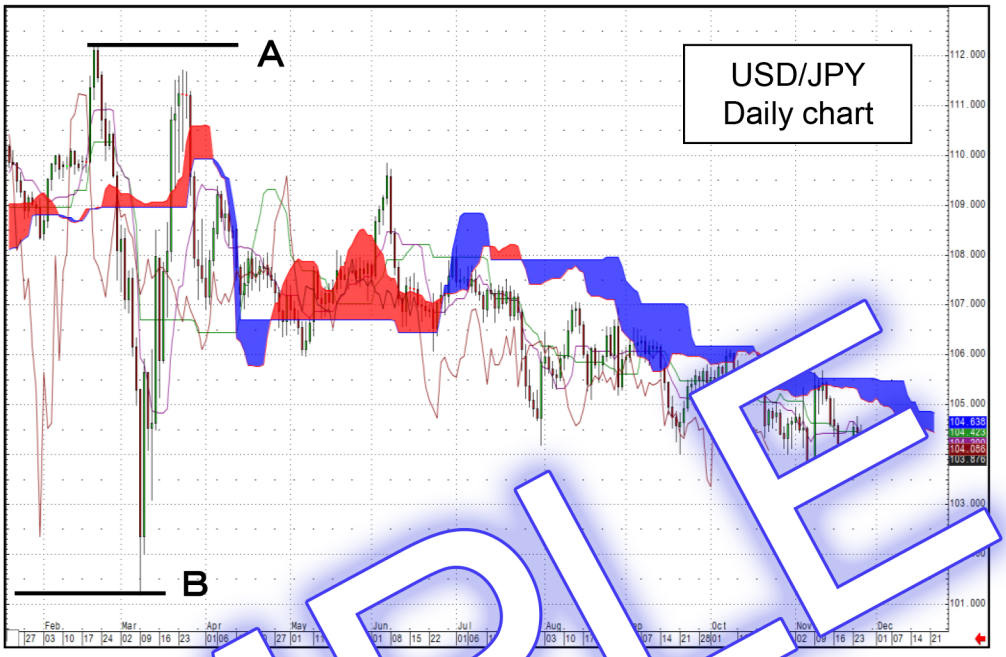
SAMPLE

(C)DZH Financial Research, Inc. All rights reserved.

ピックアップ・テクニカル 『USD/JPY ・ EUR/USD』

先週末NY Close
（テクニカルは一目均衡表）

2月20日高値（A）	112.23
先行スパン2	105.53
先行スパン1	105.05
先週高値	104.76
基準線	104.43
転換線	104.21
NY Close	**104.09**
先週安値	103.69
3月9日安値（B）	101.19

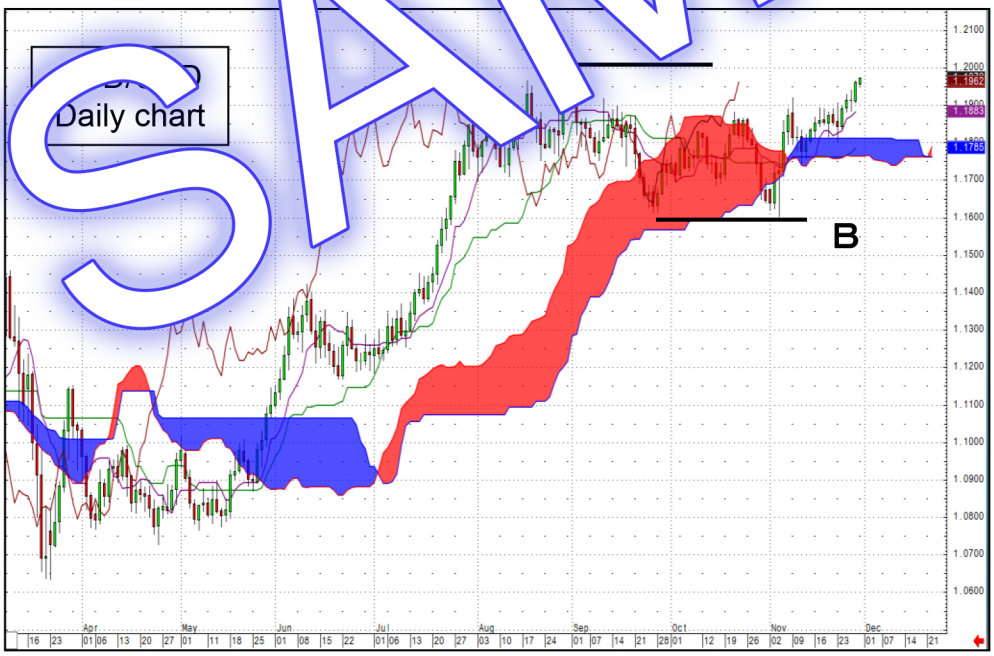


Inc. © 2006 reserved worldwide.

テクニカル コメント

先週のドル円は底の重い動きと[illegible]週前[illegible]こそ買いが優勢となったものの、結局は持ち高調整と判断さ[illegible]り売りに[illegible]れ[illegible]など下[illegible]向への圧力が一段と高まってきた。11月半ば以降サポートさ[illegible]て[illegible]103円[illegible]ミト[illegible]を抜け[illegible]ば、103円割れも見えてくるだろう。

SAMPLE



先週末NY Close
（テクニカルは一目均衡表）

9月1日高値（A）	1.2011
先週高値	1.1964
NY Close	**1.1963**
転換線	1.1882
先行スパン2	1.1812
先週安値	1.1800
基準線	1.1784
先行スパン1	1.1766
11月4日安値（B）	1.1603

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

テクニカル コメント

先週のユーロドルは底堅い動きとなった。直近9月高値の1.2011ドルが視野に入ってきており、いよいよ約4カ月間続いていた1.16-1.20のレンジを上抜ける可能性が高まってきた。ブレイクをしっかり確認して追随買いで挑みたいと思う。

(C)DZH Financial Research, Inc. All rights reserved.

今井雅人の相場の「視点」

11月26日投稿記事

『今後の中心はクロス円』

今後の作戦としては、やはりクロス円でのロングポジションを中心にしておきたいところだ。ドル円は、動きが鈍くなってしまっており、なかなかやりにくい状態。しかし、全体が円安傾向のとき、ドル円が下落していくという展開は考えづらいので、これも基本的には押し目買いをねらっていくのがいいと思う。103円台があれば買っておけばいいのではないだろうか。ユーロドルは1.19ドル台が非常に重要なポイント。ここを上に抜けて1.20ドル台に乗ると更なる上昇の可能性がチャート上では出てくる。1.19ドル台で失速するとまたレンジの中に戻っていくと思う。よく見極めてからトレード[illegible]ったほうがいいだろう。ポンドはEUとの交渉の行方がよく見えないので様子見。

よろずのつぶやき

11月27日投稿記事

『不在のなかで』

米国が感謝祭で休場となった[illegible]の海外市[illegible]はドル円[illegible]例年通りのほとんど動意のない動きとなりましたね。海外市場のレン[illegible]銭と完[illegible]なレ[illegible]ジ。参[illegible]者がほぼ不在のNY時間に限っていえば、104.25円に[illegible]り付いた膠[illegible]状態[illegible]なり[illegible]した。

ただ、アジア時間[illegible]てからは再[illegible]した[illegible]債[illegible]先物[illegible]買われ、10年債利回りが大幅な低下となると売りが先行。[illegible]とあっ[illegible]大邦輸[illegible]の売りも散見されると昨日安値の104.22円や24日[illegible]4.15円を[illegible]抜け[illegible]時10[illegible]7円まで値を下げているといったところです。

[illegible]日は、英アストラ[illegible]社が[illegible]ワクチンの治験を改めて行うことを表明。市場では「少しリスクオフのイメージ」との[illegible]と。アジア時間は短期投機筋が不在のなかでは、ドル円が大台を割り込[illegible]ては[illegible]かなり緩慢な値動き」となっています。

いずれにしても[illegible]最終[illegible]段階を迎えている英国とEUとの自由貿易協定の行方が目先は注目材料。最後まで揉め[illegible]る「漁業権」を巡り、EU内での緊急会議も開催されるわけで、「やる」、「やらない」[illegible]ン相場が繰り返されそうです。

SAMPLE

情報提供元：株式会社ＤＺＨフィナンシャルリサーチ

株式会社ＤＺＨフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）ＤＺＨフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。